

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋では、農林水産業に関する施策や取組が、政策テーマ「しごと」を中心に、多岐に渡っています。

基本計画の政策テーマ「しごと」では、2040年に目指す姿として「農林水産業が持続的に発展する社会」を掲げています。

このため、農林水産業が持続的に発展する社会の実現に向けた取組を①販売力強化、②生産性向上、③人財育成、④農山漁村振興の4つの柱に整理し、政策パッケージとして策定します。

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋の概要

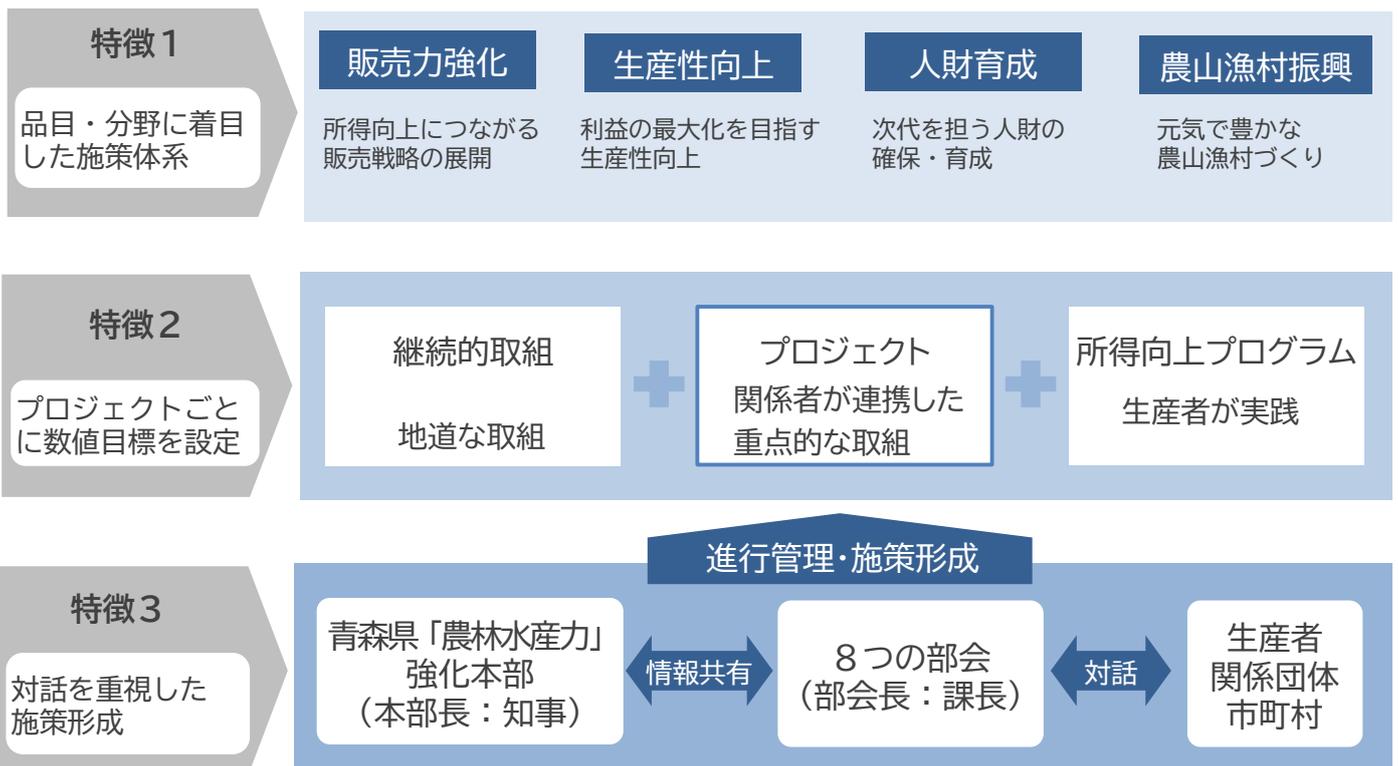


青森新時代「農林水産力」強化パッケージの概要

めざす姿



農林水産業が持続的に発展する社会





II 主な特徴

特徴1 品目・分野に着目した施策体系

生産者や関係団体が理解しやすいように、品目・分野に着目して施策を分類した上で、このうち、特に重点的に取り組むものをプロジェクトとして整理し、施策を展開します。

特徴2 プロジェクトごとに数値目標を設定

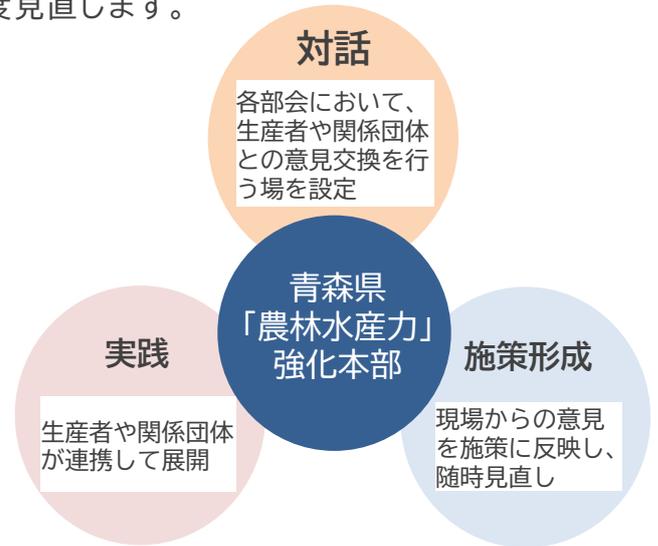
プロジェクトごとに目標や挑戦する内容を設定し、実効性を高めるため、関係者がどのように連携していくのかを明確にするとともに、進捗状況を確認しながら、同じ目標に向かって取組を進めます。

プロジェクトは、関係事業の改廃に合わせて毎年度見直します。

特徴3 対話を重視した施策形成

知事を本部長とする本部の下、分野ごとに部会を設置し、生産者や関係団体と連携して施策を展開します。

また、現場からの意見を施策に反映させるため、各部会の企画により、生産者や関係団体のキーパーソンとの意見交換を随時行います。



【青森県「農林水産力」強化本部組織図】

